

<自主的努力項目記入書式>

提携先	エスケー石鹼株式会社	記入日	2009/10/12
登録消費材名	粒状せっけん、液体せっけん、固型せっけん、せっけんシャンプー、はみがき 150g、班/固型せっけん、ミニハミガキ、漂白剤酸素系、クレンザー、詰替用せっけんシャンプー用リンス、せっけんシャンプー用リンス、詰替用洗濯用液体せっけん、洗濯仕上用リンス、洗濯仕上用リンス 詰替用、クリームクレンザー、詰替用クリームクレンザー、ハンドソープ、詰替用ハンドソープ、浴用せっけん、ボディシャンプー、詰替用ボディシャンプー、ウィルケアせっけんシャンプー、ウィルケアリンス、詰替用ウィルケアせっけんシャンプー、詰替用ウィルケアリンス、詰替用液体せっけん、詰替用せっけんシャンプー、ソルトハミガキ、こどもハミガキ、無添加粒状せっけん、洗濯槽用クリーナー、自動食器洗浄機用洗剤、アパタイトハミガキ、炭酸塩、せっけんトライアルセット		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

安定供給・消費材品質の向上を図る為、石けん消費材の原料・製法の変更を行う。
 (原料：油脂⇒脂肪酸、製法：ケン化法⇒中和法)
 また、原料を複数社から仕入れる体制へ変更を行い、原料高騰の影響を抑え安定供給を図る。
 ハミガキ類の使用感を向上させるべく、ワンタッチキャップへの変更を行う。
 (切替当初にトラブルが発生したが、キャップの型を修正し対応。現行品以上の修正は難しい事から、新たなキャップの型の検討も含め改善を図っていく)

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

昨年度10月40週企画よりせっけん消費材の製造法を、油脂とアルカリを反応させるケン化製法から直接脂肪酸とアルカリを反応させる中和製法に変更し、製造時のCO2削減と消費材品質の向上を行う。
 粒状せっけん・無添加粒状せっけんにおいては、原料脂肪酸の高騰に対し、米糠脂肪酸を配合した処方を開発し、現行品と同等の使用感を維持しながら値上幅を圧縮する。併せて、包材も見直し高騰が続く紙箱から袋タイプの包材へ変更し値上幅の圧縮と粉・におい漏れの改善を行う。
 但し、製法の変更までは着手していない為、本年度への課題とし、製造時のCO2削減を目指す

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

本年度は粒状せっけん・無添加粒状の製法を現行のスプレータワー（乾燥のために天然ガスを多量に燃焼させる設備）を使用する製法から、この設備を使用しない製造方法に変更し、製造時に発生するCO2の大幅削減を目指す。
 粒状せっけん・無添加粒状せっけんを使用する原料脂肪酸については、安定供給を図るべく輸入脂肪酸などの代替脂肪酸への切替を目指す。
 固型せっけん・浴用せっけんの原料脂肪酸においても、安定供給を図るため原料脂肪酸の自社生産を前提に切替を目指す。